

活水中学高等学校 平和祈念集会

8月9日、爆心地から500メートルの距離にある活水中学高等学校では、午前9時から生徒会主催の平和祈念集会が開催された。今年は、「ナガサキ・フクシマ ～大切なふるさと～」をテーマに上田益さん・高田薫さんを迎えて、「レクイエム・プロジェクト」のお話と朗読、合唱の祈念集会となった。その後、中学1年生から高校3年生の各学年から一人ずつ、平和への思いを発表した。



原爆投下時刻の11時2分となり、全員で黙祷した後、各クラス代表による折鶴の献納が行われました。高校生3人が活水中学高等学校の平和宣言を発表した。



その後、湯口隆司校長が、「戦争の悲惨さも時間が経ってしまうと忘れてしまいます。平和が日常であることの素晴らしさを認識し、平和への関心を高めて欲しい」と語った。

